



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久光 正郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 牛田 豊

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	42,662	12.2	559	△39.1	663	△37.2	465	△35.9
28年3月期第1四半期	38,020	△1.8	918	148.8	1,057	199.4	726	206.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 254百万円 (△66.4%) 28年3月期第1四半期 759百万円 (181.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.36	—
28年3月期第1四半期	27.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	68,769	43,680	62.7
28年3月期	75,439	43,673	57.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 43,115百万円 28年3月期 43,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	18.6	1,400	△7.3	1,500	△8.5	1,000	△17.6	33.03
通期	183,000	7.5	3,400	△0.7	3,500	△6.3	2,400	△8.0	79.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	30,371,908 株	28年3月期	30,371,908 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	53,845 株	28年3月期	93,623 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	30,298,189 株	28年3月期1Q	26,394,054 株
----------	--------------	----------	--------------

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(28年3月期40,000株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の景気減速や英国のEU離脱決定による影響への懸念から、景気の先行きに不安が広がっております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、世界的な豊作や安価な南米産への輸入シフトなどを理由に値下がりし、また為替も急激な円高が進行したことから、原材料価格は下落しております。こうした状況を反映して、飼料メーカー各社は4月に配合飼料価格を値下げしましたが、原材料価格を上回る値下げとなり原料ポジションが悪化したことや、メーカー間の競争がより一層激しくなったことから、非常に厳しい事業環境でありました。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や前期に締結した日本ハムグループ、伊藤忠商事グループとの資本業務提携を活かして売上拡大を図りました。また、前期に連結子会社化したみらい飼料株式会社を活用し、全国10工場の全体最適化による生産性向上やスケールメリットによるコストダウンで原価を低減するなど利益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高426億62百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益5億59百万円（前年同四半期比39.1%減）、経常利益6億63百万円（前年同四半期比37.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億65百万円（前年同四半期比35.9%減）となりました。

売上高は、畜産飼料の平均販売価格が低下したものの、前期の10月に連結子会社化したみらい飼料株式会社の売上が加わったことや、畜産飼料の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、12.2%の増収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの、売上総利益率の低下などにより、39.1%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、35.9%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、値下げの影響で平均販売価格が低下したものの、連結子会社化したみらい飼料株式会社の影響や飼料販売量が前年同四半期を上回ったため、前年同四半期比16.4%増の362億19百万円となりました。セグメント利益は、畜産飼料の販売量が増加したものの、原料ポジションが大幅に悪化したことによる売上総利益率の低下などにより、前年同四半期比52.1%減の3億97百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、畜産物の取扱量が減少したことなどにより、前年同四半期比8.1%減の45億95百万円となりました。セグメント利益は、売上の減少と利益率低下などにより、前年同四半期比13.5%減の75百万円となりました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比3.4%減の18億47百万円、セグメント利益は、前年同四半期比4.4%増の1億34百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ66億69百万円減少の687億69百万円となりました。流動資産は401億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億83百万円減少しました。これは主に現金及び預金が25億25百万円、受取手形及び売掛金が27億31百万円、その他の流動資産が11億30百万円減少したことによるものであります。固定資産は286億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億86百万円減少しました。これは主に有形固定資産が90百万円、投資有価証券が3億36百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ66億76百万円減少の250億89百万円となりました。流動負債は196億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億93百万円減少しました。これは主に買掛金が9億88百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が50億37百万円減少したことによるものであります。固定負債は53億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億82百万円減少しました。これは主に長期借入金が2億16百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加の436億80百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億35百万円減少したものの、利益剰余金が1億92百万円増加したことによるものであります。総資産が減少して純資産が増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.5ポイント増加の62.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年4月28日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日）を当第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日）を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,539	2,013
受取手形及び売掛金	30,097	27,366
商品及び製品	2,398	2,193
仕掛品	676	497
原材料及び貯蔵品	6,237	6,891
その他	2,735	1,605
貸倒引当金	△348	△413
流動資産合計	46,336	40,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,911	6,797
機械装置及び運搬具 (純額)	6,629	6,621
工具、器具及び備品 (純額)	648	659
土地	8,363	8,363
リース資産 (純額)	17	16
建設仮勘定	4	25
有形固定資産合計	22,574	22,484
無形固定資産	398	375
投資その他の資産		
投資有価証券	5,308	4,971
長期貸付金	2	1
退職給付に係る資産	5	5
その他	1,120	1,080
貸倒引当金	△307	△302
投資その他の資産合計	6,129	5,756
固定資産合計	29,102	28,616
資産合計	75,439	68,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,235	11,246
短期借入金	8,159	3,664
1年内返済予定の長期借入金	2,067	1,525
未払法人税等	496	118
賞与引当金	400	252
役員賞与引当金	44	—
その他	2,689	2,891
流動負債合計	26,093	19,699
固定負債		
長期借入金	3,063	2,847
債務保証損失引当金	38	16
退職給付に係る負債	671	661
資産除去債務	84	84
その他	1,813	1,780
固定負債合計	5,672	5,389
負債合計	31,765	25,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,394	4,394
利益剰余金	33,245	33,438
自己株式	△58	△33
株主資本合計	42,317	42,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,291	1,056
繰延ヘッジ損益	△273	△270
為替換算調整勘定	6	△2
退職給付に係る調整累計額	△224	△203
その他の包括利益累計額合計	800	579
非支配株主持分	555	565
純資産合計	43,673	43,680
負債純資産合計	75,439	68,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
売上高	38,020	42,662
売上原価	33,913	39,032
売上総利益	4,107	3,630
販売費及び一般管理費	3,189	3,070
営業利益	918	559
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	67	85
貸倒引当金戻入額	44	1
債務保証損失引当金戻入額	10	22
保管料収入	45	—
その他	32	40
営業外収益合計	202	149
営業外費用		
支払利息	14	13
持分法による投資損失	3	1
保管料原価	42	—
為替差損	2	26
その他	0	3
営業外費用合計	63	45
経常利益	1,057	663
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
ゴルフ会員権評価損	0	2
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	1,055	660
法人税、住民税及び事業税	287	108
法人税等調整額	38	76
法人税等合計	325	184
四半期純利益	729	475
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	726	465

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
四半期純利益	729	475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	△235
繰延ヘッジ損益	△189	2
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	9	20
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△8
その他の包括利益合計	29	△220
四半期包括利益	759	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755	244
非支配株主に係る四半期包括利益	3	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,105	5,002	36,107	1,912	38,020	—	38,020
セグメント間の 内部売上高又は振替高	181	0	181	17	198	△198	—
計	31,286	5,002	36,289	1,930	38,219	△198	38,020
セグメント利益	830	86	916	128	1,045	10	1,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△296百万円、金融収支292百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,219	4,595	40,814	1,847	42,662	—	42,662
セグメント間の 内部売上高又は振替高	167	0	167	15	183	△183	—
計	36,386	4,595	40,982	1,863	42,845	△183	42,662
セグメント利益	397	75	473	134	607	52	660

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△256百万円、金融収支321百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。